

## 若槻自然遺産の「散策コースマップ(仮称)」発刊に向けて

自然環境部会は事業の一環として「散歩会」など実施し若槻自然遺産の活用に取り組んで来ましたが、現場を訪れやすくするための情報を集約した散策コースマップを今年度発刊することとしました。

若槻自然遺産は、自然環境部会の事業として平成25年度から3年を費やし、若槻地区内の溜池や巨木、お宮の村、湧水・鉱泉、さらに景観ポイントを実際に訪ねて確認し、計39箇所の対象を若槻自然遺産のリストに揚げました。平成27年度には、各遺産の写真と所在地、簡潔な紹介を纏めたA5版8ページの小冊子「若槻自然遺産ガイドマップ」を刊行し、若槻地区に全戸配布しました。

事業の趣旨は、私たちの地域を取り巻き暮らしや健康に深く関わっているが日頃意識することも目を向けることも忘れていく地域の自然を再認識し積極的に触れる機会を作り、自然の恵みに感謝しさらに自然環境の保全に取り組む活動につなげることを目指しています。(若槻自然遺産ガイドマップ8ページの「若槻自然遺産について」で具体的に触れています。)

小冊子(マップ)の刊行後は、マップの活用事業として掲載された「遺産」を巡る3時間を目安とした散策コースを設定して年間2~3回の「散歩会」を開催し、マップの普及と自然遺産の周知を図ってきました。

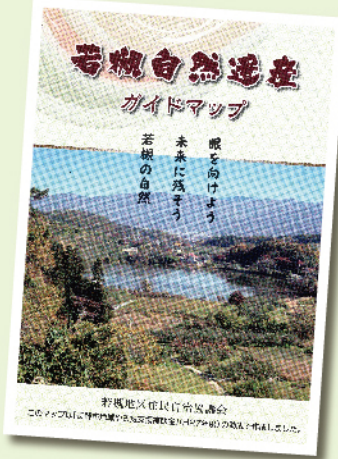
散歩会の経験と情報を基に、より多くの住民がいつでも気軽に若槻自然遺産の各所を散策できるように、目安や参考になるコースを紹介するパンフレットの刊行を要望する声がありました。

住民の要望を受けて、令和3年から2年間かけ「若槻自然遺産活用事業」の自然遺産散歩会を「モデルコース選定のための調査」と兼ね、計7回の散歩会と調査を実施してきました。一部は自然環境部会会員のみで実施しましたが、コミわか広場を通して住民の皆様にも呼びかけ、参加していただいた方の感想やご意見も参考にさせていただきました。参加して下さった方々にはこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

モデルコースは7コースを策定しています。早春のカタクリやサクラ、新緑の三登山山ろくを巡るコース、水の恵に感謝して幾つかの溜池と湧水・鉱泉を巡る



コース、長野市指定の「保存樹木・樹林」をめぐりながら途中の自然遺産を尋ねるコース、長野市の天然記念物に指定されている稲田のエノキ(エノキ公園)や一里塚公園をメインに街の中の公園、遊園地、緑地帯を巡るコースなど、変化に富んだコースで若槻地区の多様な自然と触れ合えるよう、また何れのコースも半日(およそ3時間前後)で歩けるように配慮してあります。



散策コースマップは4月には全戸配布できる予定です。

多くの住民の皆さんがこのパンフレットを手に、各若槻自然遺産を訪れ、私たちの住む若槻の自然の多様な姿、豊かさに触れ、心癒されるひと時に浸れるようにとの願いを込めて作業を進めています。

(自然環境部会)

